

平成 30 年度（一社）千葉県代協第 4 回理事会議事録

日時 平成 31 年 4 月 19 日(金) 13:00～15:45

場所 長沼原勤労市民プラザ 多目的ホール

<出席理事>(敬称略) 20 名

小口泰伸、東正己、積田淳、今西英人、筒井隆行、大下整二、中臺勝美、須佐弘男、佐藤隆二、福原鋭司、四方裕伸、石井孝幸、安藤康子、田原豊、石橋陽二郎、秋元浩、北田耕一、石井清、久保田洋之、市原貴

<欠席理事>(敬称略) 11 名

伊藤綱人、辰野方哉、萱野一、本吉淳、宅間稔、五木田厚、伊野雅至、矢部元茂、鈴木政敏、清水武史、池辺晃司、

<出席監事>

栗田秀美 小倉滋彦

司 会：今西専務

議 長：小口会長

議事録作成人：宮澤事務局長 議事録署名人：栗田監事、小口会長

(配布資料)

1. 各委員会議事録（前回理事会以降）
2. 平成 30 年度第 4 回支部長・三役会議議事録
3. 2019 年度理事会、三役会、支部長・三役会議スケジュール
4. 平成 30 年度第 3 回理事会議事録
5. 2019 年度通常総会及び記念セミナーについて
6. 2019 年度通常総会当日の運営について
7. 2019 年度通常総会議案
8. 国民年金基金の取次業務の取り扱いに向けて
9. 東関東ブロック「人材育成研修会」について（4/10 三役会議事録より抜粋）
10. 慶弔規定(千葉代協)

<議事>

定足数の確認

今西専務が出席理事数の確認を行い、本理事会が有効に成立していることを報告した。

1. 会長挨拶

小口会長から、挨拶があった。

(挨拶概要)

- ・会員増強は最終的に 6 店増で終り、目標の 14 店には届かなかった。しかし、日本代協全体の会員減の中では健闘したのではないかと思う。

- ・ 3月8日に日本代協 の臨時総会が開催され、2019年度事業計画・予算が承認された。事業計画の中で、主な変更点は、次の2点である。

(1) 会員増強キャンペーンの目標が純増（入会店－退会店）から、入会店のみに変更された。(2) 三冠王の1項目であった国民年金基金加入者の推進がなくなったので、代協独自項目として、次の4項目からの選択制となった。

1. 日本代協アカデミー本登録ID数
2. ぼうさい探検隊団体数
3. 出前授業の実施
4. 代協の体制整備（会費体系の見直し）

なお、千葉代協は、独自項目として、「ぼうさい探検隊団体数」を選択する。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

各委員長から、概要次の報告があった。

委員会名	報告概要
組織	会員増強は皆様のご協力のお蔭で、加入店17店（全国6位）を達成 2019年度は、28店増が目標なので、ご協力を宜しく。
企画環境	今後は金融機関向けチラシの周知徹底、消費者センターとの打ち合わせを図る。
教育	千葉代協セミナーの盛会の御礼。日本代協アカデミーのPRの実施。
広報	千葉代協だより（2018年度第2号の発行）、千葉日報広告掲載の件
CSR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金 59,687 円を子ども支援などを目的に振り込む。 ・ 2019年度地震保険普及キャンペーンは、安房・市原・木更津が担当 ・ ぼうさい探検隊マップコンクールが千葉代協の三冠王の独自項目として、選択される予定なので、目標15団体、各支部最低1団体以上の参加を目指す。 ・ サイバーセキュリティ対策の強化について

(2) 支部報告

各支部から支部総会の開催状況を中心として、報告があった。

(3) 平成30年度第4回支部長・三役会議報告

今西専務より、配布資料に沿って報告があった。

(4) 事務局報告

①ビルのオーナー変更について

事務局が入っているビルのオーナーがユニバース開発(株)から(株)日進プランニングに変更になったとの報告があった。

②文書の西暦表示について

本年度から、日本代協が文書の年号を和暦表示から、西暦表示に変更するのに合わせ千葉代協も西暦表示とするので、支部においても西暦表示にご協力願いたいとの要請があった。

③2019年度理事会, 三役会、支部長・三役会スケジュール 別紙1のとおり報告があった。

3. 前回議事録（平成30年度第3回理事会）承認の件

異議なく承認された。

4. 協議事項

(1)2019年度千葉代協主催レクリエーションについて

前回の理事会で支部長・三役会議に一任され、3月15日の支部長・三役会議で、北総支部を主管とした「成田空港見学ツアー」の方向となった。その後詳細を詰めたところ、とりあえず北総支部で実施したうえで、県全体の実施の判断をすることとなった。

従って、本年度千葉代協主催レクリエーションについて、改めて今西専務より次の提案を行った。

(提案内容)

1. バスツアー 会費1万円（半額県代協負担）
2. 体験地引網（岩井海岸など、地引網後の海岸清掃、会食）

検討の結果、次の集約を行った。

『久保田支部長から「一宮海岸の地引網」の実施の可能性についての連絡を待って三役会で検討のうえ、後日持ち回り理事会で実施の可否を決定することとした。』

(2) 2019年度通常総会対応について

① 2019年度通常総会などのスケジュールについて

掲記に関し、次のとおり確認された。

日時：2019年5月24日

場所：ホテルグリーンタワー幕張

イ. 13時～ 受付開始 ・13時30分～14時30分 通常総会

ロ. 15時～17時 総会記念セミナー

[テーマ] 1部 千葉県における地震リスク（予定）

[講師] 気象庁職員（東京管区气象台または銚子地方气象台）

2部 地震保険について

日本損害保険協会 南関東支部事務局長 横尾修一氏

[懇親会] 時間：午後5時30分～7時30分

場所：ホテルグリーンタワー幕張 20階イル・デ・バン

会費：5,000円

② 総会記念セミナーについて

別紙2の案内状を来週、全会員にメールで流すことが、承認された。

③ 2019年度通常総会の当日の運営について

次のとおりの役割で総会を運営していくことが、承認された。

項目	担当
総会議長	五木田支部長（千葉）
議事録署名人	久保田支部長（茂原）、福原支部長（市原）
受付	組織委員会、大場、武澤（事務局）
提携業者ブース	筒井広報委員長
誘導	企画環境委員会

③ 2019年度総会議案について

当日席上配布の2019年度総会議案について、一部文言を修正のうえ承認された。また、次の資料を同封のうえ、4月26日に全会員あてに郵送することが承認された。

（総会議案同封資料）

- ・委任状
- ・総会記念セミナー案内状
- ・千葉代協だより
- ・提携業者一覧表

(3) 国民年金基金の取次業務の取り扱いについて

（経緯）日本代協は、従来の職能型「全国損害保険代理業国民年金基金」を本年3月末で廃止し、この4月から「全国国民年金基金」に合流した。

日本代協は、この「全国国民年金基金」と業務提携をし、全ての国民年金加入者を対象とした上乘せ「国民年金基金の取次業務」が出来る仕組みを構築した。

この取次業務の取り扱いを行うかどうかについては、各代協に一任された。

以上の経緯を踏まえて、千葉代協として「国民年金基金の取次業務」について、検討の結果、取次業務の取り扱いを行うことが承認された。

今後は全国基金の支部から連絡を待って、細部を詰めたうえで、契約書の締結を行う。

(4) 東関東ブロック「人材育成研修会」について

東関東ブロックが今年度の「人材育成研修会」の担当ブロックとなっているが、千葉代協主管で「人材育成研修会」を開催する次の提案が承認された。

(提案内容)

- ・ 東関東ブロックの「人材育成研修会」について千葉代協が主管で開催する。
- ・ 次の実行委員会を立ち上げて実施に向けて進めていく。
実行委員長 大下企画環境委員長
実行副委員長 積田教育委員長
実行委員、顧問 栗田監事
- ・ 費用などを勘案し、東関東ブロックセミナー及び千葉代協セミナーも人材育成セミナーのなかで、実施していく方向で検討してもらおう。

(5) 慶弔規定の改定及び内規の制定について

慶弔規定を次のとおり改定することが、承認された。

① 「第2条(1)本会の会員本人」を「第2条(1)本会の正会員本人」に改める。

② 内規として、次を定める。

第4条(弔慰金)

(3) 本会の役員の子及び父母(義父母を除く) 5,000円

(注) 役員とは、会長、副会長、専務理事、理事及び監事とする。

(監事講評)

小倉監事→小口新会長のもと順調に進んでいる。今年度の会員増強は立派な成績である。千葉代協のますますの発展を期待している。

栗田監事→人材育成研修会は大変なイベントであるが、これは千葉代協が一丸となって取り組めるいいチャンスであるので、実行委員長以下頑張っ
て欲しい。皆さんも是非協力して欲しい。

次回理事会 2019年7月12日(金) 午後1時~4時30分 於長沼原勤労市民プラザ